

芝 産 第 3 8 7 号
平成20年10月 7日

国土交通省道路局長 様

芝川町長 野 村 寛

今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号により依頼のあった標記の件について、下記のとおり回答します。

担 当：産業課参事 望月利英
電 話：0544-65-2801
FAX：0544-65-2800
E-mail：shibakawa1@mail.wbs.ne.jp

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

静岡県芝川町

急峻な山間地域が多くを占める本町では、予想される東海地震など災害時の集落の孤立化が懸念されており、道路整備は優先度の高い政策として位置づけています。

道路整備については、効率化や費用対効果の評価だけではなく、公共交通機関の経常的視点から削減されているなか、国民が等しく普通の生活を送ることを保障するためには、国に頼らなければならない地方の実情を理解し、地方道路整備には整備規格を段階的に緩和しつつ地域の特殊事情を考慮した道路整備の促進を図るべきと考える。

②－１ 地域の現状と抱える課題

静岡県芝川町

○現状

本町の南端を通過する新東名高速道路は、静岡市清水区央原にインターチェンジが建設され平成24年度に供用される予定であり、町の更なる発展に資することが期待されております。本町の立地特性を生かすためにも同高速道路への連絡道となる主要地方道清水富士宮線の整備が最重要となっています。この路線は、町の中央を走り静岡市と富士地区の北部を連絡する広域道路ではありますが、整備率は低く子供や高齢者などの交通弱者にとって安全な道路整備など地域の特性に応じた整備が必要であります。又、469号についても、県道・町道についても、交通量は増加の傾向にあるなか、全面的な整備は現状では望めないが、待避所及び危険箇所等の早期の改修整備が必要となっています。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②－2 地域の目指す将来像

静岡県芝川町

本町の根幹である主要地方道清水富士宮線を縦軸とし、現在整備が進められている国道469号などを横軸となすことにより町の動脈となり将来の発展が望める。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

静岡県芝川町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域の活力の向上	・主要地方道清水富士宮線の国道52号の分岐から国道469号の合流点までの整備	・本町はもとより富土地域、県東部地域の生活道路、及び災害時の緊急輸送道路としての役割を果たす。 ・新東名インターに近く企業誘致が期待できる。	